

# あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.203 2016.3.1

## 松本伝統のひな祭りを楽しもう!!

松本の春、見つけた 2016



### もくじ

- 誌上博物館 ◇ 松本の春、見つけた 2016.....2  
◇ 考古博物館開館30周年記念特別展  
「松本の考古学の原点～中山地区の遺跡～」.....3  
ガイドコーナー ◇ はんでんぼく.....4

美しく生きる。  
健康寿命延伸都市・松本

## 松本まるごと博物館 3館連携事業 松本の春、見つけた 2016



松本市立博物館 Tel.0263-32-0133

### 月遅れのひな祭り 3月1日(火)～4月10日(日)

ひな祭りの日にひな人形を飾るという風習は、今でも多く見ることができます。大切に保管されてきたひな人形は、博物館に寄贈いただくことも多く、現在、松本市立博物館には1500体以上のひな人形を収蔵しています。なかには、江戸時代頃の人形や、かつて松本地方で盛んに作られていた裂細工の半立体的なひな人形「押絵雛」など、普段あまり見ることができないものもあります。

ここ松本地方では、他の地方より一か月遅れた

4月3日にひな祭りを祝う風習があります。ひな祭りの時期にあわせ、博物館で保管しているさまざまなひな人形を展示しますので、この機会にぜひご覧ください。

[場 所] 松本市立博物館 2階特別展示室



はかり資料館 Tel.0263-36-1191

### 町屋で楽しむひな祭り—押絵雛展— 3月1日(火)～4月10日(日)

ひと月遅れで行われる松本平のひな祭りは、今でも押絵の技法を取り入れた雛と、今日広く見られる立体的な人形雛とを併せて飾ることが多いようです。



町屋の造りを残すはかり資料館で、江戸時代に作られた押絵雛を

中心に写真パネルで紹介します。武家の内職として全工程を手作りしていたという松本押絵雛は、優れた技術、面長の顔立ち、曲線や動きを感じさせる美しさなどが特徴です。ぜひ、当館へお立ち寄りいただき、平面的でありながらも立体感を感じさせる押絵雛をご覧になり、春の訪れを感じていただければ幸いです。

[場 所] はかり資料館

馬場家住宅 Tel.0263-85-5070

### 古民家で楽しむひな祭り—押絵雛展— 3月1日(火)～4月10日(日)

「押絵雛」は、人物などの形を厚紙で作し、これに綿を挟み、布を張って半立体的な形にする手法で作られています。ひな祭りの行事は、奈良時代に中国から伝えられたといわれますが、庶民の間で流行するのは江戸時代のことです。文化・文政(1804～30)の頃に押絵の技法は発達し、羽子板にも盛んに使用されました。

馬場家住宅が建てられた江戸時代後期に、押絵雛は庶民に愛されるようになります。日本各地で押絵による雛人形が制作されており、松本市のほか秋田県横手市、福岡県久留米市などが有名です。

今回、馬場家住宅では、市立博物館の所蔵品より、歌舞伎を題材にしたものなど躍動感ある押絵雛約40点を展示します。本棟造りの古民家で当時の生活に思いを馳せていただけたら幸いです。

[場 所] 重要文化財馬場家住宅



### 【関連事業】甘酒サービス 4月3日(日)9時30分～なくなり次第終了

[場 所] 松本市立博物館、はかり資料館、馬場家住宅



## 考古博物館開館30周年記念特別展 「松本の考古学の原点～中山地区の遺跡～」

考古博物館は、昭和61年（1986）8月2日に開館し、今年で30周年を迎えます。

では、なぜ考古博物館が松本市東山部の中山地区に設置されたのか、皆さんご存知でしょうか。実は、考古博物館には中山考古館という前身施設があります。中山考古館は、昭和6年（1931）に中山尋常高等小学校の一室に設置されました。当時、中山村の宝物である柏木古墳の出土品が村外へ流出する危機に瀕した際に、村をあげて守り保管したことに始まります。こうして住民の尽力によって誕生した中山考古館では、自分が発見した出土品（お宝）をお互いに見せ合いながら、あれこれと議論し太古の昔に思いを馳せていた、そんな光景があったのかもしれない。そして、こうした住民同士のやりとりこそ、松本の考古学研究の始まりと言えるのではないのでしょうか。そう考えると、専門家が難しい顔をして土器を見ているような考古学のイメージが、変わってきませんか。



中山考古館



柏木古墳（大正14年頃）

中山考古館は、松本市立博物館の分館化や建物の新築などを経て、誕生から55年後、同じ中山の地に考古博物館として生まれ変わりました。考古博物館では、市内各地から出土した資料を収蔵・展示し、また、勾玉づくりや火起こしなどを体験できる体験型博物館として、現在まで30



坪ノ内遺跡出土の縄文土器

年間に渡り様々な事業を展開しています。

開館30周年を記念する今回の展示では、考古博物館の原点であり、松本の考古学研究の先駆けとなった中山地区の遺跡から出土した資料を展示します。柏木古墳の出土品など住民の方から寄贈された資料のほか、華やかな飾りのある縄文土器や古墳に納められた有力者の刀剣など、「地域に残された地域の宝」をぜひご覧ください。そして、中山地区に息づく「深い郷土愛の精神と、地区のものは地区で護るという強い責任感」を感じていただければ幸いです。



柏木古墳出土の装身具

考古博物館の資料には、これらを発見し寄贈していただいた人々の思いも込められています。こうした思いこそ博物館の原点であり、大切に保管し後世に引き継がなくてはなりません。また、考古学がいつまでも市民の皆さんのものであるために、今後も、地域とともに歩む身近な博物館であり続けたいと考えています。

（考古博物館 学芸員 / 千賀康孝）

開館30周年記念特別展  
「松本の考古学の原点～中山地区の遺跡～」

[会 期] 4月23日(土)～6月26日(日)

[会 場] 考古博物館第2展示室

松本市立博物館から

☎0263-32-0133

「松本藩領ミュージアム」を考える講演会&座談会

松本の歴史と文化を、江戸時代の松本藩領の視点から掘り下げる講座です。

第1回

日時 3月19日(土)午前10時～正午  
講師 百瀬新治氏/信濃史学会会員

第2回

日時 3月26日(土)午前10時～正午  
講師 小林康男氏/日本考古学協会会員  
会場 松本市立博物館 2階講堂  
料金 金 200円  
申込み 3月7日(月)から市立博物館へ

四賀化石館から

☎0263-64-3900

「シナノイルカ頭蓋化石」「イチハラビロードザメ骨格化石」の新規展示

会期 3月1日(火)から  
会場 四賀化石館 1階展示室  
料金 金 通常観覧料



シナノイルカ

「福寿草まつり」期間中、サメの歯化石プレゼント

会期 3月12日(土)～22日(火)の毎日(会期中無休)  
料金 金 通常観覧料  
対象 入館者先着 30組  
問合せ 四賀化石館へ

窪田空穂記念館から

☎0263-48-3440

「松本の子どもの短歌・2015」入賞作品展

会期 3月19日(土)～4月17日(日)  
午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)  
休館日…月曜日(祝日の場合は翌日休館)  
会場 窪田空穂記念館会議室  
料金 金 作品展のみ無料  
問合せ 窪田空穂記念館へ

時計博物館から

☎0263-36-0969

時計ネジ巻き見学会

普段は見るできない時計技師が行っている古時計のネジ巻きや時刻合わせの様子を、解説をまじえながら公開します。

日時 3月19日(土)・20日(日) 午前8時45分～9時45分  
会場 松本市時計博物館 常設展示室(1・2階)  
料金 金 通常観覧料  
定員 20人  
対象 一般  
問合せ 松本市時計博物館へ



平成27年時計ネジ巻き見学会

あとがき

時計博物館の横を流れる女鳥羽川にはたくさんの鳥が餌を求めてやってきます。暖かい季節には鴨がブカブカ流れていき、寒い冬は鷺や鵜が餌を探しています。のんびり眺めているだけでも面白い松本の川は、非常に豊かな自然が残っているのだと実感できます。(T.Y)

松本民芸館から

☎0263-33-1569

SPLレコードコンサート

日時 3月5日(土)午後1時30分～3時  
会場 松本民芸館  
定員 30人  
料金 金 通常観覧料  
申込み 松本民芸館へ

八十二ウィンドーギャラリー展 「松本民芸館の魅力」

松本民芸館の魅力のほんの一部ではありますが、写真やパネルでの紹介に加え、美しい民芸品も展示予定です。どうぞお楽しみください。

会期 4月8日(金)～5月13日(金)  
会場 八十二銀行ウィンドーギャラリー  
問合せ 松本民芸館へ

企画展「バーナード・リーチと信州の民芸」

会期 4月19日(火)～8月28日(日)  
会場 松本民芸館  
料金 金 通常観覧料  
問合せ 松本民芸館へ

旧制高等学校記念館から

☎0263-35-6226

濱徳太郎と「春寂寥」<sup>はるせきりょう</sup> 一うけつがれる松高寮歌一

旧制松本高校から信州大学へと歌の継がれる名寮歌「春寂寥」。松高在学中に同曲を作曲した美学者・濱徳太郎は、音楽・建築・クラシックカーと多くの分野に関心をもった人物でした。本展では、楽譜やスケッチなど、新規寄贈資料を中心に濱の生涯をご紹介します。



愛車に乗る濱徳太郎

会期 3月19日(土)～5月8日(日)  
午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)  
休館日…月曜日(祝日の場合は翌日休館)  
会場 旧制高等学校記念館1階ギャラリー  
料金 金 無料(常設展は通常観覧料)  
問合せ 旧制高等学校記念館へ

松本市歴史の里から

☎0263-47-4515

企画展「歴史の里コレクションⅡ」

当館所蔵の資料の中から、常設展示していない資料を展示します。

会期 4月29日(金・祝)～6月26日(日)  
会場 松本市歴史の里  
料金 金 通常観覧料

はた織り実演とみすず細工製作実演が始まります

日時 4月～11月までの原則日曜日、午前10時～午後3時  
(予告なく変更となる場合もありますのでお問い合わせください。)  
会場 松本市歴史の里  
問合せ 松本市歴史の里へ

あなたと博物館 No.203

発行年月日/平成28年3月1日  
編集・発行/松本市立博物館  
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133  
URL: http://www.matsu-haku.com  
e-mail: mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp



印刷 川越印刷株式会社